

ドキュメンタリー映画「うまれる」自主上映会報告書

この度は映画「うまれる」の上映会を主催していただきまして、誠にありがとうございました。
以下の報告書にご記入いただき、上映終了から 1 週間以内に本報告書をメールへの添付にてお送りくださいませ。

■ 上映会主催者様について

学校名	(都道府県) 愛知県	(市区町村) 知多郡	
	(私立・公立) 私立	日本福祉大学	
ご担当者	Y.S	担当教科	総合演習
お振込名義(お支払いがある場合)		日本福祉大学	

■ 上映会について

上映日時	2012年 7月 11日 9時半～11時	2012年 7月 12日 9時半～11時
	年 月 日 時～時	年 月 日 時～時
視聴者	1年生	300人
	2年生	20人
	4年生	15人
	教員	14人
	学校関係者	0人
上映会の目的	社会福祉学部の学生を対象に、映画を通じて命、家族について考えるきっかけを作り、さらにそこから児童虐待や不妊治療などの問題にも関心を広げることを目的とします。	
子ども達は集中して映画を観る事が出来ていましたか?		
<input checked="" type="radio"/> 出来ていた	<input type="radio"/> 概ね出来ていた	<input type="radio"/> どちらとも <input type="radio"/> あまり出来ていない <input type="radio"/> 全く出来ていない
上映会を開催して良かったと思われませんか?		
<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> どちらとも言えない	<input type="radio"/> いいえ
また『うまれる』を学校で上映したいと思っていただけましたでしょうか?		
<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> どちらとも言えない	<input type="radio"/> いいえ

上映会当日の様子についてお聞かせください。

500人収容可能なホールで上映しました。

映画が始まる際には、学生たちはざわざわとして落ち着かない感じでしたが、上映が始まると静かになり、多くの学生が集中して見ていました。

上映中には、涙を流す学生も幾人か見受けられました。

上映後には、自発的に「よかったね」「泣けた」とお互いの感想を話し合う学生の姿が見られました。そのような感想を話しているのは、女子学生に多かったです。

全体的に、男子は自分がいかに母親の中で生まれ・生まれてきたかに関心を持ちながら、女子は自分が母親になる未来に思いを馳せながら観賞したようです。

上映会を開催された感想をお聞かせください。

映画の上映後、多くの学生が感想カードに「親に感謝しようと思った」「生まれることは素晴らしいと思った」「自分も、隣の子も奇跡の存在なんだ」「みんな少しずつ振り返りながら、前を向いて進んでいる」という、希望に満ちた感想を寄せてくれました。

今回の上映会の主な対象は社会福祉学部1年生でしたが、福祉に関心を持っている学生たちにとって、映画に登場する4組の家族いずれもが自らの興味・関心に結びつき、さまざまな感情を抱いていたようです。

特に、家族に障がい者がいる学生や、自分自身が虐待を受けてきた学生にとっては、自分自身と家族との関係を見つめ直すきっかけになっていたようでした。また、そのような人々の支援に携わりたいという学生にとっては、具体的な将来のビジョンに思いを馳せるきっかけになっていました。

学生にとって、結婚や妊娠・出産はまだ現実味を帯びてはいないようでしたが、大学に入って一人暮らしを始めて親離れする時期にこの映画を鑑賞することで、自分と親の関係を捉え直し、さらには自分が親になることを意識する契機になったように思います。

映画『うまれる』自主上映会主催報告書

<p>映画を鑑賞する人自身の背景や年齢によって映画の見え方は異なると思いますが、上映を企画した私自身の印象としては、対象が社会福祉学部の学生であったこと、また大学1年生であったという点が、今回の上映会の成功につながったように思います。</p>	
<p>上映会開催にあたって、どのような方々に相談して実現されたのか教えてください。</p>	
<p>当初、総合演習の授業だけでの上映を行う予定でしたが、児童福祉論をはじめとする講義でも上映していただくことになり、予算が工面できました。</p>	
<p>上映会開催にあたって支障になったことがあれば教えてください。</p>	
<p>これから上映会を主催する学校関係者の方にアドバイス等ございましたらお書きください。</p>	
<p>映画を見て終わりではなく、上映後に学生のフォローをする必要があると考え、映画を鑑賞した後に、感想カードの記入、学生と教員の間でのディスカッションの時間をとりました。「感動した」で終わるのではなく、そこから一歩踏み込むことができると、さらに良い学習になると思います。</p>	
<p>どのような経緯で『うまれる』のことを知りましたか？</p>	
<p>①映画館で見て 2.知人/友人等の紹介 3.インターネット 4.テレビ 5.新聞 6.その他()</p>	
<p>もし今回の上映会における反省点などございましたらお聞かせください。</p>	
<p>特にありません。</p>	
<p>映画『うまれる』では、学校での上映を検討されている先生方が、生の声や感想を事前に聞き、より良い上映会を開催していただくため、「お問い合わせ受付ボランティア」を募集しております。もし宜しければ、学校上映のページ (http://www.umareru.jp/everycinema-3.html)にて、お名前、学校名、ご担当教科、メールアドレスを掲載させていただけないでしょうか？</p>	
はい	いいえ

その他、何かございましたらご自由にご記入くださいませ。

今回、バリアフリー版を借りました。字幕があることによって、若干、聞きにくかったり、聞き逃してしまう部分もしっかりと頭の中に入りました。そのため、学校教材用の90分のもので、バリアフリー版を作っていただきたいです。その場合、もう少し字幕が見やすいように工夫していただきたいと思います。

ご記入ありがとうございました!

上映メディアは上映終了から3日以内に、郵送返却くださいませ。

- ※ 教員様やお子様のお声を無記名でブログなどご紹介させていただく事がございます。
- ※ ご報告書のご提出がない場合は、支援金は適用されませんのでご注意くださいませ。

『うまれる』パートナーズ LLP
学校上映担当 徳田香織